

# 休眠中のレストラン再開による集客事業

株式会社高鍋めいりんの里（宮崎県）

2001年地元の有志によって、観光・温泉交流施設として開設された。

## 1. 相談のきっかけ

宮崎県商工会議所連合会の経営指導員研修会の終了後に、高鍋商工会議所の経営指導員より、4月より営業休止している温泉施設のレストラン再開に関して、よろず支援拠点の協力を得たいとの申し出があった。

## 2. 課題整理・分析

レストラン再開について、地元事業者（飲食業者等）への協力依頼と周知徹底が必要であった。それには、高鍋商工会議所の協力が必要なため、以下のような課題の解決について支援チームを編成した。

1. 新たに職員を採用して直営方式で行うか、それともテナント募集を行って運営するのかの検討。
2. 集客できるメニューとイベント開催に関する提案。
3. 運営全般に関する規定に関する協議。

## 3. 解決策の提案

今回のレストラン再開をスムーズに実施するため、地元新聞社へのニュースリリースに関する手配をよろず支援拠点で行うことになった。様々な課題に関して、再開の段取りが付くまで毎週月曜日にミーティングで確認しながら事業推進することを提案した。



## 4. 成果

地元新聞社との連携によってニュースリリースを実行し、休眠中のレストラン再開について地元及び周辺地区の住民に対して周知徹底できた。そして、高鍋商工会議所の会員向け（約700先）へのニュースリリースも実施できた。

協議を重ねてきた結果、平成26年10月の中旬から公募によってテナントを募集し、下旬までにテナントを決定したうえで、11月からのレストラン再開をすることになった。

